

北海道厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人旭川医科大学
学長 吉田 晃 敏

旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	70.7 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	233人	115人	324.1人	看護補助者	57人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	7人	10.6人	理学療法士	8人	臨床検査技師	45人
薬 剤 師	38人	0人	38.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	12人	その他	0人
助 産 師	20人	3人	21.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	601人	46人	631.4人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	4人
准 看 護 師	0人	0人	0.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	103人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	31人	その 他 の 職 員	42人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	477.6 人	4.6 人	482.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,530.3 人	45.1 人	1,575.4 人
1日当たり平均調剤数			907剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	5人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	63人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	29人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	29人	・原発性胆汁性肝硬変	49人
・全身性エリテマトーデス	213人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・再生不良性貧血	11人	・混合性結合組織病	18人
・サルコイドーシス	103人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	4人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	165人	・網膜色素変性症	38人
・特発性血小板減少性紫斑病	33人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	45人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	231人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	19人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	46人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	14人	・慢性血栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	144人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	92人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	42人	・肥大型心筋症	95人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	5人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	18人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	42人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	16人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	54人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡下頸部腫瘍摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 頸部腫瘍(甲状腺癌)に対して、内視鏡補助下において摘出する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	20回
部 検 の 状 況	部検症例数 30例 / 部検率 9.20%

○の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
1	「オール北海道先進医学・医療拠点形成」(治験段階に移行する基礎研究の創出)	吉田 晃敏	学長	27,338	研究開発施設共用等促進費補助金	
2	熱ショック蛋白を介するボストコンテンションの心保護効果	竹内 利治	第一内科	390	科学研究費助成事業	継続
3	酸化的DNA損傷修復と熱ショック蛋白修飾における心血管リモデリング抑制の研究	長谷部 直幸	第一内科	2,470	科学研究費助成事業	継続
4	腫瘍血管リモデリングにおける心管新生による神経再生因子の役割	川辺 淳一	第一内科	650	科学研究費助成事業	継続
5	DNA修復機構APE-1の心筋幹細胞に対する細胞機能再生及び虚血毒性に対する効果	竹原 有史	第一内科	1,300	科学研究費助成事業	継続
6	ヒト不全心臓リモデリングにおける心筋幹細胞の増殖による新たな心筋再生治療法の確立	竹原 有史	第一内科	3,000	公財) 北海道科学振興財団	
7	糖尿病性腎症におけるグルコース応答性遺伝子発現制御機構の解明と新規治療法の開発	羽田 勝計	第二内科	7,670	科学研究費助成事業	
8	60歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリブチンによる血糖コントロールの改善効果(START-0)	羽田 勝計	第二内科	0	委 社) 日本糖尿病協会	継続
9	short form GIPの分泌機構および糖代謝改善機序を解明する	藤田 征弘	第二内科	1,950	科学研究費助成事業	継続
10	免疫細胞制御における低糖素応答性転写因子群の役割の解明と炎症疾患治療への応用	牧野 雄一	第二内科	1,820	科学研究費助成事業	継続
11	新しい診断手法の肝臓後診への応用とこれを用いた肝臓診療のエビデンス構築をめざした多施設共同研究	阪生 和信	第二内科	0	委 NPO法人 日本がん臨床試験推進機構	継続
12	新しい診断手法の肝臓後診への応用とこれを用いた肝臓診療のエビデンス構築をめざした多施設共同研究 (JACCR0 GC-06)	阿部 真美	第三内科	0	委 NPO法人 日本がん臨床試験推進機構	継続
13	HER2陽性、65歳以上の乳癌患者に対する「タイニエスワン」による治療効果の検証 (JACCR0 GC-06)	高後 裕	第三内科	210	委 特非) 日本がん臨床試験推進機構	継続
14	HER2陽性、65歳以上の乳癌患者に対する「タイニエスワン」による治療効果の検証 (JACCR0 GC-06)	高後 裕	第三内科	0	委 特非) 日本がん臨床試験推進機構	継続
15	炎症性腸疾患バイオフィルム微生物由来活性物質を介した粘膜保護作用の解明とその制御	高後 裕	第三内科	3,640	科学研究費助成事業	継続
16	炎症性腸疾患バイオフィルム細胞幹細胞保護因子を用いた培養上皮移植による炎症性腸疾患治療法の開発	田邊 裕貴	第三内科	1,560	科学研究費助成事業	継続
17	腸管組織におけるオートファジーの機能および腸管炎症病態との関連性の解明	稲場 勇平	第三内科	2,080	科学研究費助成事業	継続
18	EP-CAM+初代培養腺管を用いた腸がん薬剤感受性因子のプロファイリング	河本 徹	第三内科	1,300	科学研究費助成事業	継続
19	遺伝子変異形腺管を用いた腸がん自然発症マウスからの前癌病変初代細胞の樹立とその悪性化	毎島 順平	第三内科	2,080	科学研究費助成事業	継続
20	ヒトIPMN由来異形腺管を用いた腸癌発症リスク評価とIPMNの生物学的解明	小泉 一也	第三内科	1,170	科学研究費助成事業	継続
21	非トランスポーズ結合鉄による赤血球造血抑制と鉄キレート剤での造血回復効果の検討	生田 克哉	第三内科	1,690	科学研究費助成事業	継続
22	腸管組織におけるオートファジーの機能および腸管炎症病態との関連性の解明	藤谷 幹浩	第三内科	2,080	科学研究費助成事業	継続
23	腸管組織におけるオートファジーの機能および腸管炎症病態との関連性の解明	澤田 康司	第三内科	1,430	科学研究費助成事業	継続
24	新規鉄代謝指標・生体内不安定鉄NTBIの革新的測定法開発・実用化研究及び臨床応用	佐々木 勝則	第三内科	1,560	科学研究費助成事業	継続
25	腸がん自然発症マウスによる「骨髄腫」を介した悪性化機構の解明とその制御	水上 裕樹	第三内科	1,430	科学研究費助成事業	継続
26	新規鉄代謝促進剤によるHIF-1 α 抑制作用とその肝臓治療効果の解明	田中 宏樹	第三内科	1,430	科学研究費助成事業	継続
27	睡眠障害及び睡眠障害マウスを用いた遠隔睡眠治療の有効性検証	千葉 茂	精神神経科	500	委 独) 国立精神・神経医療研究センター	
28	次世代型DNA解析システムでの左心低形成をきたす遺伝子の網羅的解析	杉本 昌也	小児科	400	公財) ノーステック財団	
29	概日リズム異常を来す病態の分子機構の解明	鈴木 滋	小児科	2,900	公財) 上原記念生命科学財団	
30	重症単眼ヘルペスウイルス感染症への抗炎症的治療介入に関する基礎研究	長森 恒久	小児科	400	公財) ノーステック財団	
31	発達期脳に及ぼすかん発作の影響一皮質形成異常を有するモデル動物を用いた研究一	高橋 恒也	小児科	1,300	科学研究費助成事業	継続
32	次世代型DNA解析システムを用いた肺高血圧治療薬の有効性と遺伝子多型の関連性の検討	杉本 昌也	小児科	1,170	科学研究費助成事業	継続
33	GnRHニューロンにおける思春期発来調節因子の新規機能解析と時間生理学的研究	棚橋 祐典	小児科	650	科学研究費助成事業	継続
34	静脈内皮細胞機能のエピゲノム調節における長寿遺伝子の役割	東 信良	小児科	1,300	科学研究費助成事業	継続
35	新生児腸管腸管の包括的研究: 新規責任遺伝子の探索ならびに血糖管理指標の確立	鈴木 滋	第一外科	2,860	科学研究費助成事業	継続
36	腸管周囲脂肪由来の腹部大動脈硬化関連因子の探索	齊藤 幸裕	第一外科	750	公財) 北海道心臓協会	
37	血防組織由来の腹部大動脈硬化関連因子の探索	河野 透	第二外科	400	科学研究費助成事業	継続
38	大連中湯によるクロロゲン病腸管再手術率低下を指摘した基礎的研究	河野 透	第二外科	130	科学研究費助成事業	継続
39	「治験時特許権」を対象とした「治験時特許権」を用いた創薬開発の国際化に関するネットワーク構築 (研究費: B-045)	古川 博之	第二外科	7,221	厚生労働科学研究費補助金	
40	脳死ドナーにおける多臓器適出に関する教育プログラムの確立	古川 博之	第二外科	1,300	科学研究費助成事業	継続
41	心停止下肝移植への臨床応用をめざした肝臓保存法の開発	長谷川 公治	第二外科	0	委 特非) 日本がん臨床試験推進機構	継続
42	初回IS-1療法に治療効果を示した進行・再発性癌に対する二次化学療法-CP-111併用療法-	伊藤 浩	整形外科	3,770	科学研究費助成事業	継続
43	股関節各軟部組織の安定性に対する貫刺の評価	熱田 裕司	整形外科	1,170	科学研究費助成事業	継続
44	神経性間欠跛行を再現するfictive実験モデルの開発	熱田 裕司	整形外科	1,170	科学研究費助成事業	継続
45	乾癬表皮における細胞内情報伝達機構を介する増殖と分化制御の研究	藤塚 一	皮膚科	3,900	科学研究費助成事業	継続
46	表皮角化細胞における乾燥病変表皮におけるポドラン分子の機能解析	本間 大	皮膚科	650	科学研究費助成事業	継続
47	皮膚バリア障壁における角質素モソームの異質の解析と治療への応用	山本 明美	皮膚科学講座	1,040	科学研究費助成事業	継続
48	乾癬の上流遺伝子同定と角質管内表皮一血球細胞間クロストークによる乾癬表皮形成	辻 ひとみ	皮膚科学講座	3,250	科学研究費助成事業	継続
49	空中超音波ドプラシステムを採用したウロダイナミクス計測システムの開発とその有用性	松本 成史	腎泌尿器外科	700	委 独) 科学技術振興機構	
50	慢性骨盤痛症候群における肥満細胞の意義および病態解明	松本 成史	腎泌尿器外科	3,510	科学研究費助成事業	継続

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
51	新たな網膜循環調節因子と網膜症治療法の確立	大岡 恒明	眼科	1,560	科学研究費助成事業	継続
52	2型糖尿病患者の網膜循環へのアディポカインの影響と集学的な網膜症治療法確立	長岡 泰司	眼科	1,300	科学研究費助成事業	継続
53	特異的T細胞同定によるフォークト・小柳・原田病の診断法の確立	木ノ内 玲子	眼科	1,040	科学研究費助成事業	継続
54	糖尿病網膜症の早期発見と早期介入および治療	十川 健司	眼科	1,430	科学研究費助成事業	継続
55	アスタチンによる網膜血管内皮機能に及ぼす影響	石羽 澤	眼科	780	科学研究費助成事業	継続
56	プロテインを標的とした糖尿病網膜症の新規治療法の開発	横田 陽匡	眼科	2,080	科学研究費助成事業	継続
57	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmicrornaの発現	岸部 幹	耳鼻咽喉科	1,950	科学研究費助成事業	継続
58	Erbbファミリーを標的とした頭頸部癌の免疫治療に向けた基礎研究	龍井 琢美	耳鼻咽喉科	1,690	科学研究費助成事業	継続
59	鼻性NK/T細胞リンパ腫に対するEBウイルス・腫瘍増殖因子標的治療の基礎的研究	原測 保明	耳鼻咽喉科	6,630	科学研究費助成事業	継続
60	鼻癌病巣疾患における病態解明と鼻癌摘出術の有用性に関する基礎的研究	高原 幹	耳鼻咽喉科	1,560	科学研究費助成事業	継続
61	電気刺激による内頰筋の再運動化と筋萎縮の抑制に関する研究	片田 彰博	耳鼻咽喉科	1,690	科学研究費助成事業	継続
62	喉頭ペーシングの改良に関する研究	野村 研一	耳鼻咽喉科	1,430	科学研究費助成事業	継続
63	ヒト男性不妊症と習慣流産の病態解明およびその臨床医学への応用	宮本 敏伸	産科婦人科	910	科学研究費助成事業	継続
64	平成24年度子ども健康と環境に関する全国調査	千石 一雄	産科婦人科	25,127	国立大学法人北海道大学	継続
65	精子形成遺伝子群の網膜解析による精子形成メカニズムの解明	千石 一雄	産科婦人科	1,040	科学研究費助成事業	継続
66	不妊症患者の美態と生殖補助医療技術による妊孕性向上に関する研究	千石 一雄	産科婦人科	803	北海道知事	継続
67	心筋Iカチオンチャンネルに対する吸入麻酔薬と交感神経刺激の相互作用	三國 生臣	産科婦人科	2,600	科学研究費助成事業	継続
68	妊娠と神経障害性疼痛	小野寺 美子	麻酔科蘇生科	520	科学研究費助成事業	継続
69	麻酔プロセノドンがミトコンドリアアオニオンチャンネルに与える影響	丹保 亜希仁	麻酔科蘇生科	1,170	科学研究費助成事業	継続
70	マルチモダリティ画像融合手術シミュレーションとナビゲーション装置の開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	1,170	科学研究費助成事業	継続
71	新規ナビゲーションの開発と術中MRIを用いた、脳神経機能温存の脳腫瘍手術	鎌田 恭輔	脳神経外科	500	委 独) 国立がん研究センター	継続
72	脳機能画像と多光子メレクトロニクスによる言語機能連関BMIの開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	4,550	委 独) 科学技術振興機構	継続
73	脳皮質電位と脳機能画像標準化によるヒト機能子ブレード作成と信号解読	鎌田 恭輔	脳神経外科	3,510	科学研究費助成事業	継続
74	皮質電位と脳機能画像標準化によるヒト機能子ブレード作成と信号解読	鎌田 恭輔	脳神経外科	12,350	科学研究費助成事業	継続
75	赤外線センサを用いた蒸下解析装置の開発に関する研究	小神 順也	産科婦人科	520	科学研究費助成事業	継続
76	ラット骨髄植体モデルにおける運動負荷の効果メカニズム検討	向野 雅彦	リハビリテーション科	1,950	科学研究費助成事業	継続
77	Brain Machine Interfaceを用いた急性期脳卒中リハビリの効果	大田 利勝	総合診療部	2,080	科学研究費助成事業	継続
78	PARy ligandによる疼痛に対する抗腫瘍効果-血管新生関連分子発現の解析-	奥村 利勝	総合診療部	910	科学研究費助成事業	継続
79	睡眠覚醒リズムと消化管運動の連関	大平 賀子	総合診療部	1,040	科学研究費助成事業	継続
80	神経ペプチドオレキシンの消化管運動調節機構とその意義	野津 司	総合診療部	910	科学研究費助成事業	継続
81	HGFがヒト膵臓細胞のMMP-9発現に及ぼす影響~出血後水頭症の治療開発に向けて	野本 年男	周産母子センター	1,170	科学研究費助成事業	継続
82	胎盤甲胎蛋白ホルモンラントラントの発現と早産児甲胎蛋白機能の関連についての検討	野原 史建	周産母子センター	1,300	科学研究費助成事業	継続
83	胎盤11ペプチドヒドロキシペロイド脱水素酵素が胎児発育に及ぼす影響に関する研究	長原 建	周産母子センター	1,560	科学研究費助成事業	継続
84	エイズ診療向上に関する調査研究	大崎 能伸	呼吸器センター	4,096	委 北海道知事	継続
85	アライニン代謝酵素のEGF阻害因子阻害機構に関する基礎的研究	大崎 能伸	呼吸器センター	0	社) 日本・多国籍間臨床試験機構	継続
86	EGF阻害因子阻害機構に関する基礎的研究	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特非) 西日本がん研究機構	継続
87	新規ALK阻害薬に対する耐性機序の解明	佐々木 高明	呼吸器センター	1,690	科学研究費助成事業	継続
88	新規ALK阻害薬による耐性機序の解明	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特非) 西日本がん研究機構	継続
89	進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエルトネブのランダム化第III相試験(WJOG5108L)	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特非) 西日本がん研究機構	継続
90	肺癌の新たな個別化治療の確立を目指したNanp t遺伝子の変異解析とその機能解析	大崎 能伸	呼吸器センター	3,120	科学研究費助成事業	継続
91	肺癌患者のゲフィチニブとエルトネブのランダム化第III相試験(WJOG5108L)	阿部 泰之	緩和ケア診療部	1,900	科学研究費助成事業	継続
92	癌の蛍光診断を応用した新たな体内リンパ節と体内深部の転移病巣診断法の開発	北田 正博	乳腺疾患センター	1,560	科学研究費助成事業	継続
93	エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較試験(POT)	川村 祐一郎	乳腺疾患センター	22	財) パブリック助成事業	継続
94	非非腫瘍性心臓病(NVAF)患者におけるダビガトラン投与時のDyspepsia発生の発現率、重症度の調査、及び治療法の検討	岡田 基	循環器センター	650	財) 心臓血管研究所	継続
95	骨髄由来内皮前駆細胞におけるプロスタノイドの包括的役割解明	國澤 卓之	集中治療部	260	科学研究費助成事業	継続
96	血管外科患者における尿酸ランジオロールの薬物動態研究	谷川 琢海	手術部	2,340	科学研究費助成事業	継続
97	北海道における冬季の患者受療行動モデルの構築と評価	大村 友博	経営企画部	2,080	科学研究費助成事業	継続
98	脳機能障害におけるユビキチンリガーゼHRD1の発現量解析と法医学診断学への応用	田崎 嘉一	薬剤部	1,040	科学研究費助成事業	継続
99	新規の抗パーキンソン病作用を有するオキシカム系骨格医薬品の開発					

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Hypertens Res (2012. 4)	The balance of fetuin-A and osteoprotegerin is independently associated with diastolic dysfunction in hemodialysis patients.	アリ タリブ	第一内科
2	Pacing and Clinical Electrophysiology: PACE (2012. 6)	Recurrent Ventricular Fibrillation Related to Hypokalemia in Early Repolarization Syndrome.	明上 卓也	第一内科
3	Intern Med (2012. 6)	Retrospective Comparison of the Efficacy of Tonsillectomy with and without Steroid pulse Therapy in IgA Nephropathy Patients.	中川 直樹	第一内科
4	Kidney International (2012. 7)	The intrinsic prostaglandin E2-EP4 system of the renal tubular epithelium limits the development of tubulointerstitial fibrosis in mice.	中川 直樹	第一内科
5	International Heart Journal (2012. 7)	Combination of Antihypertensive Therapy in The Elderly, Multicenter Investigation (CAMUI) Trial Rationale and Design	佐藤 伸之	第一内科
6	Intern Med (2012. 7)	Impact of decreased estimated glomerular filtration rate on Japanese acute stroke and its subtype.	珍田 純子	第一内科
7	脳卒中 (2012. 7)	内包・放線冠領域梗塞急性期の構音障害は左側病巣で出現しやすい	齋藤 司	第一内科
8	Internal Medicine (2012. 8)	Incomplete Kawasaki disease manifesting as transient heart failure in a previously healthy adolescent.	山内 敦司	第一内科
9	日本内科学会雑誌 (2012. 8)	30代で発症した家族性地中海熱の1例	澤田 潤	第一内科
10	International Heart Journal (2012. 9)	Site of transmural late gadolinium enhancement on the cardiac MRI coincides with the ECG leads exhibiting terminal QRS distortion in patients with ST-Elevation myocardial infarctions	二村 麻美	第一内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
11	International Journal of Cardiology (2012. 9)	Clinical characteristics and risk of arrhythmia recurrences in patients with idiopathic ventricular fibrillation associated with early repolarization.	竹原 有史	第一内科
12	Neurol Sci (2012. 9)	A case of midbrain infarction causing ipsilateral mydriasis, contralateral superior rectus palsy, and bilateral ptosis. . 2012.9 [Epub ahead of print]	齋藤 司	第一内科
13	日本サルコイドーシス/ 肉芽腫性疾患学会雑誌 (2012. 9)	完全房室ブロック発症し、腹腔鏡下肝生検で確定診断しえたサルコイドーシス	杉山 英太郎	第一内科
14	The Journal of Cardiovascular Electrophysiology (2012. 10)	Enhanced Transmural Dispersion of Repolarization in Patients with J Wave Syndromes	アフマド タリブ	第一内科
15	Intern Med (2012. 10)	Acute Myocardial Infarction with a Left Main Trunk Lesion and Documented Lambda-like J Waves.	八巻 多	第一内科
16	THERAPEUTIC RESEARCH (2012. 10)	PGI2持続静注療法後、長期間観察し得ている門脈肺高血圧症の1例	小笠 壽之	第一内科
17	Diseases (2012. 11)	Cerebrovascular Disease and Intracranial Artery Stenosis in Patients with Symptomatic Peripheral Artery Disease Journal of Stroke and Cerebrovascular 21(8):	相澤 仁志	第一内科
18	Mod Rheumatol (2013. 1)	Mizoribine for crescentic glomerulonephritis with sarcoidosis: effectiveness not only for urinalysis abnormalities but also for hilar lymph node enlargement.	鹿原 真樹	第一内科
19	Circulation Journal (2013. 2)	Angiotensin-Receptor Blockers,Hypertension and Alzheimer Disease -The Entangled Relationship-	片山 隆行	第一内科
20	World J Gastroenterol. (H24.9)	Hepatic schwannoma: imaging findings on CT, MRI and contrast-enhanced ultrasonography.	太田 雄	第二内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
21	Tohoku J Exp Med. (2012.)	Paneth cells regulate both chemotaxis of immature dendritic cells and cytokine production from epithelial cells.	伊藤 貴博	第三内科
22	47th Annual meeting of the European Association for the Study of the Liver. (2012 Apr.)	Dysregulation of iron-hepcidin metabolism in NAFLD; the role of intestinal BMP-6 in obese ob/ob mouse model.	長谷部 拓夢	第三内科
23	Dig Endosc. (2012 May.)	Pseudo-diverticular formation due to a cytomegalovirus infection in the colorectum.	藤谷 幹浩	第三内科
24	Int J Cancer. (2012 May.)	Biomarkers predicting development of metachronous gastric cancer after endoscopic resection: an analysis of molecular pathology of Helicobacter pylori eradication.	盛一 健太郎	第三内科
25	Food and Nutrition Sciences (2012 May.)	Effect of Lactobacillus brevis SBC8803 on gamma-glutamyl transferase in Japanese habitual drinkers: a double-blind, placebo-controlled study	大竹 孝明	第三内科
26	DDW 2012 (AGA) (2012 May.)	Polyphosphate is a novel active molecule derived from Lactobacillus brevis that contributes to the maintenance of intestinal homeostasis and the improvement of intestinal injury in acute and chronic experimental colitis.	藤谷 幹浩	第三内科
27	BMC Gastroenterol. (2012 Jun.)	Back-to-back comparison of auto-fluorescence imaging (AFI) versus high resolution white light colonoscopy for adenoma detection.	盛一 健太郎	第三内科
28	Hepatol Res. (2012 Jul.)	Guidelines on nutritional management in Japanese patients with liver cirrhosis from the perspective of preventing hepatocellular carcinoma.	高後 裕	第三内科
29	Int J Colorectal Dis. (2012 Aug.)	Competence and sporulation factor derived from Bacillus subtilis improves epithelial cell injury in intestinal inflammation via immunomodulation and cytoprotection.	岡本 耕太郎	第三内科
30	日本消化器病学会雑誌 (2012 Sep.)	メタボリック症候群と飲酒	大竹 孝明	第三内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
31	16th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (2012 Sep.)	Iron accumulation through dysregulation of iron-related molecules in alcoholic liver disease.	大竹 孝明	第三内科
32	16th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (2012 Sep.)	Hepatocellular carcinoma of alcoholic liver disease patients with or without metabolic syndrome.	大竹 孝明	第三内科
33	10th Annual Discovery on Target (2012 Oct.)	microRNA-18a inhibits the progression of colon cancer cells through the direct binding and down-regulation of oncogenic heterogeneous nuclear ribonucleoprotein A1 (hnRNPA1).	藤谷 幹浩	第三内科
34	J.Clin Biochem Nutr. (2012 Nov.)	Analysis of vanin-1 upregulation and lipid accumulation in hepatocytes in response to a high-fat diet and free fatty acids.	高後 裕	第三内科
35	J Pathol. (2012 Nov.)	Iron overload signature in chrysotile-induced malignant mesothelioma.	生田 克哉	第三内科
36	10th Asian IBD Symposium (2012 Nov.)	Polyphosphate derived from Lactobacillus contributes to the maintenance of intestinal homeostasis and the improvement of intestinal injury in experimental colitis.	藤谷 幹浩	第三内科
37	Dig Endosc. (2012 Dec.)	Intraluminal duodenal diverticulum with refractory pancreatitis successfully treated by endoscopic diverticulectomy.	伊藤 貴博	第三内科
38	Hepatol Res. (2012 Dec.)	Survey of non-B, non-C liver cirrhosis in Japan.	大竹 孝明	第三内科
39	54th ASH Annual Meeting (2012 Dec.)	Anti-Proliferative Effect of Itraconazole On ALCL-Derived Cell Line	岡村 直香	第三内科
40	Int J Hematol. (2013 Jan.)	Hyperferritinemia after adult allogeneic hematopoietic cell transplantation: quantification of iron burden by determining non-transferrin-bound iron.	後藤 拓磨	第三内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
41	Gastrointest Endosc. (2013 Jan.)	Image-enhanced endoscopy for the diagnosis of colon neoplasms.	藤谷 幹浩	第三内科
42	Biochim Biophys Acta. (2013 Jan.)	Focal adhesion kinase regulates intestinal epithelial barrier function via redistribution of tight junction.	藤谷 幹浩	第三内科
43	Biochem Biophys Res Commun. (2013 Feb.)	Endoplasmic reticulum stress suppresses lipin-1 expression in 3T3-L1 adipocytes.	高後 裕	第三内科
44	Int J Cell Biol. (2013 Mar.)	Traffic control of bacteria-derived molecules: a new system of host-bacterial crosstalk.	藤谷 幹浩	第三内科
45	臨床精神薬理 (24・4)	Aripiprazoleの上乗せ投与により blonanserin投与中に生じた高プロラクチン血症および女性化乳房が改善した統合失調症の1例	藤村 洋太	精神科神経科
46	臨床と研究 (24・6)	レム睡眠行動障害 (REM Sleep Behavior Disorder)	田村 義之	精神科神経科
47	日本臨床 (24・6)	交代勤務者の睡眠障害と生活習慣病	千葉 茂	精神科神経科
48	脳とこころのプライマリケア5意識と睡眠 (24・6)	概日リズム睡眠障害	田村 義之	精神科神経科
49	脳とこころのプライマリケア5意識と睡眠 (24・6)	意識と脳波	千葉 茂	精神科神経科
50	脳とこころのプライマリケア5意識と睡眠 (24・6)	意識障害の診断 意識障害の臨床的分類	千葉 茂	精神科神経科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
51	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	軽度の意識障害の診断—面接技術を 中心に	千葉 茂	精神科神経科
52	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	睡眠の基礎知識	中尾 由美子	精神科神経科
53	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	主観的な睡眠の評価方法—睡眠日誌 と質問紙法	吉澤 門土	精神科神経科
54	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	ビデオポリソムノグラフィ	松田 美夏	精神科神経科
55	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	睡眠不足症候群	山口 一豪	精神科神経科
56	脳とこころのプライマリ ケア5意識と睡眠 (24・6)	睡眠関連てんかん	阪本 一剛	精神科神経科
57	Psychiatry Research: Neuroimaging (24・ 7)	Increased binding of peripheral benzodiazepine receptor in mild cognitive impairment-dementia converters measured by positron emission tomography with [(11)C]DAA1106.	藤村 洋太	精神科神経科
58	Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology (24・ 7)	Does the 'hikikomori' syndrome of social withdrawal exist outside Japan? A preliminary international investigation.	藤村 洋太	精神科神経科
59	Medical Technology (24・9)	総論:睡眠障害の分類・診断・治療	千葉 茂	精神科神経科
60	週刊 医学のあゆみ (24・9)	サーカディアン・リズムと睡眠障害	千葉 茂	精神科神経科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
61	精神医学 (24・10)	一過性てんかん性健忘を呈した老年期側頭葉てんかんの一例	吉原 慎佑	精神科神経科
62	日本精神科病院協会 雑誌 (24・11)	医療スタッフの概日リズム睡眠障害と 労務管理	藤村 洋太	精神科神経科
63	American Journal of Cardiology (H24.4)	Findings in the pulmonary vascular bed in the remote phase after Kawasaki disease.	杉本 昌也	小児科
64	Hormone Research in Pediatrics (H24.4)	Glycated albumin in patients with neonatal diabetes mellitus is apparently low in relation to glycemia compared with that in patients with type 1 diabetes mellitus.	鈴木 滋	小児科
65	Pediatric Diabetes (H24.6)	Evaluation of glycated hemoglobin and fetal hemoglobin-adjusted HbA1c measurements in infants.	鈴木 滋	小児科
66	Am J Med Genet A (Aug, 2012)	Platyspondylic Lethal Dysplasia Torrance Type With a Heterozygous Mutation in the Triple Helical Domain of COL2A1 in Two Sibs From Phenotypically Normal Parents.	岡本 年男	小児科
67	Journal of Pediatric Hematology/Oncology (H25.1)	Risk factor analysis of bloodstream infection in pediatric patients after hematopoietic stem cell transplantation.	更科 岳大	小児科
68	Arch Dis Child-Fetal (Mar, 2013)	Newborn screening of congenital cytomegalovirus infection using saliva can be influenced by breast feeding.	古谷野 伸	小児科
69	European Journal of Vascular and Endovascular Surgery (H24. 8)	Factors Related to Postoperative Delirium in Patients with Lower Limb Ischaemia: A Prospective Cohort Study	東 信良	第一外科
70	Journal of Pharmacological Sciences (H24. 10)	Acute Vasoreactivity Testing With Nicardipine in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension	齊藤 幸裕	第一外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
71	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases (H24.11)	Cerebrovascular Disease and Intracranial Artery Stenosis in Patients with Symptomatic Peripheral Artery Disease	東 信良	第一外科
72	Journal of Vascular Surgery (H25. 1)	Cyclic adenosine monophosphate response-element binding protein activation by mitogen-activated protein kinase-activated protein kinase 3 and four-and-a-half LIM domains 5 plays a key role for vein graft intimal hyperplasia	齊藤 幸裕	第一外科
73	Asian Cardiovascular & Thoracic Annals (H25. 2)	Ruptured aneurysm of coronary artery-to-pulmonary artery fistula	赤坂 伸之	第一外科
74	日本臨床外科学会雑誌 (2012/7)	腸閉塞を呈した小腸血管腫の1例	宮本 正之	第二外科
75	日本臨床外科学会雑誌 (2012/7)	酢酸リユープロレリンによる上腸間静脈血栓症の1例	渡邊 賢二	第二外科
76	Clin J Gastroenterol (2012/8)	Pancreatoduodenectomy for circumportal pancreas accompanying the retroportal pancreatic duct: a case report and review of the literature	庄中 達也	第二外科
77	消化器外科 (2013/1)	消化器外科手術アトラス 門脈・肝静脈腫瘍栓を伴う巨大肝癌に対する右三区域切除	谷口 雅彦	第二外科
78	日本臨床外科学会雑誌 (2013/2)	二度の手術を要した胃全摘後Roux-en-Y吻合部逆行性腸重積の1例	北 健吾	第二外科
79	J Orthop Res. 31(1):67-72. (2012. Jul.)	Blockade of JNK and NFAT Pathways Attenuates Orthopedic Particle-Stimulated Osteoclastogenesis of Human Osteoclast Precursors and Murine Calvarial Osteolysis	山中 康裕	整形外科
80	Spine. 37(20):1763-1770. (2012. Sep.)	Epidemiology of Degenerative Lumbar Scoliosis.	神保 静夫	整形外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
81	J Arthroplasty. 28(2):309-314. (2013. Feb.)	Intermediate-to long-term results after hybrid total hip arthroplasty in patients with rheumatoid arthritis.	伊藤 浩	整形外科
82	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY (2012)	Mucous membrane pemphigoid accompanied by ovarian cancer:A case with autoantibodies solely against γ 2-subunit of laminin-332	渋谷 貴史	皮膚科
83	Journal of Dermatological Science (2012)	Photodynamic therapy using a novel photosensitizer, TONS501, is similarly effective to ALA and EC036 photodynamic therapy on DMBA-and TPA-induced mouse skin papilloma	高橋 英俊	皮膚科
84	Int. J Urol. (2012)	Causative significance of bladder blood flow in lower urinary tract symptoms	松本 成史	泌尿器科
85	Int. J Urol. (2012)	alpha 1D/A-adrenoceptor antagonist naftopidil for the male lower urinary tract symptoms associated with benign prostatic hyperplasia: Efficacy of dose increase therapy	柿崎 秀宏	泌尿器科
86	Urol Int (2012)	Effect of imidafenacin on nocturia and sleep disorder in patients with overactive bladder.	和田 直樹	泌尿器科
87	Neurourol Urodyn (2012)	Analysis of Bladder Vascular Resistance Before and After Prostatic Surgery in Patients with Lower Urinary Tract Symptoms Suggestive of Benign Prostatic Obstruction	和田 直樹	泌尿器科
88	泌尿器科紀要 (2012)	空中超音波ドプラシステムを用いた新規尿流測定器の開発とその有用性	松本 成史	泌尿器科
89	泌尿紀要 (2012)	α 1遮断薬投与中の前立腺肥大症患者に対するデュタステリド追加投与の効果:特に過活動膀胱の改善について	和田 直樹	泌尿器科
90	臨床泌尿器科 (2012)	精巣胚細胞腫瘍の予後不良群における治療成績	堀 淳一	泌尿器科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
91	日本泌尿器科学会雑誌 (2012.5)	腎細胞癌、腎血管筋脂肪腫に合併した副腎Solitary fibrous tumor の1例	橋爪 和純	泌尿器科
92	Current eye research (2012.5)	Association Between diabetic retinopathy and flow-mediated vasodilation in type 2 DM.	十川 健司	眼科
93	Investigative Ophthalmology & visual Science (2012.5)	Fenofibrate,an Anti-Dyslipidemia Drug,Elicits the Dilation of Isolated Porcine Retinal Arterioles;Role of Nitric Oxide and AMP-Activated Protein Kinase.	大前 恒明	眼科
94	American journal of Ophthalmology (2012.5)	Correlation between plasma pentosidine concentrations and retinal hemodynamics in patients with type 2 diabetes	佐藤 栄一	眼科
95	American journal of Ophthalmology (2012.6)	Relationship between choroidal thickness and choroidal circultaion in healthy young subjects.	十川 健司	眼科
96	Japanese journal of Ophthalmology (2012.9)	Effects of topical carteolol on retinal arterial blood flow in primary open-angle glaucoma patients.	川井 基史	眼科
97	Investigative Ophthalmology & visual Science (2012.9)	The effect of monocyte chemoattractant protein-1/CC chemokine ligand 2 on aqueous humor outflow facility.	坪井 尚子	眼科
98	Experimental eye research (2012.10)	Retinal arteriolar responses to acute severe elevation in systemic blood pressure in cats: Role of endothelium-derived factors.	中林 征吾	眼科
99	American journal of Ophthalmology (2012.11)	Idiopathic Full-thickness Macular Holes and the Vitreomacular Interface: A High-Resolution Spectral-Domain Optical Coherence Tomography Study.	高橋 淳士	眼科
100	Investigative Ophthalmology & visual Science (2012.12)	Elevated levels of monocyte chemoattractant protein-1 in the aqueous humor after phacoemulsification.	川井 基史	眼科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
101	ENTONI (平24.4)	【耳鼻咽喉科における抗ウイルス薬・ステロイド”の効果的処方】 多発血管炎性肉芽腫症(ウェケ” ナー肉芽腫症)および”関連疾患の 診断と治療	岸部 幹	耳鼻咽喉科
102	Arthritis Rheum (平24.5)	Clinical images: Eagle's syndrome.	長門 利純	耳鼻咽喉科
103	Int J Pediatr Otorhinolaryngol (平24.5)	Congenital cholesteatoma isolated to the mastoid presenting as stricture of the external auditory canal.	長門 利純	耳鼻咽喉科
104	日本耳鼻咽喉科感染 症研究会会誌 (平24.5)	魚骨迷入による舌膿瘍の1例	吉田 沙絵子	耳鼻咽喉科
105	日本耳鼻咽喉科感染 症研究会会誌 (平24.5)	臨床実習中の医学生に見つかった頸 部結核性リンパ”節炎の1症例	平田 結	耳鼻咽喉科
106	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科 (平24.8)	【HPV・EBVと頭頸部腫瘍】 EBVと悪性リンパ腫	岸部 幹	耳鼻咽喉科
107	耳鼻咽喉科臨床 (平24.8)	鼻粘膜皮膚移植術を施行したオス ラー病例	大原 賢三	耳鼻咽喉科
108	Visual Dermatology (平24.9)	【掌蹠膿疱症の治療-あの手この 手】(Part3)病因と病態 (総説06)扁桃と掌蹠膿疱症 耳鼻科の立場から	高原 幹	耳鼻咽喉科
109	耳鼻咽喉科臨床 (平24.9)	殺虫剤の誤吸入による喉頭炎例	大原 賢三	耳鼻咽喉科
110	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科 (平24.10)	【扁桃とアデ”ノイド”Update】 扁桃病巣疾患 最近のトピ”ックス	原渕 保明	耳鼻咽喉科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
111	ENTONI (平24.10)	【耳鼻咽喉科における病巣感染症update 扁桃・副鼻腔疾患を中心に-】 扁桃病巣疾患に対する扁桃摘出術の 適応と効果	高原 幹	耳鼻咽喉科
112	Br J Haematol (平24.12)	Expression of CD70 in nasal natural killer/T cell lymphoma cell lines and patients; its role for cell proliferation through binding to soluble CD27.	吉野 和美	耳鼻咽喉科
113	Laryngoscope (平24.12)	Intra-arterial cisplatin with concomitant radiation for advanced hypopharyngeal cancer.	野村 研一郎	耳鼻咽喉科
114	ENTONI (平24.12)	【唾液腺腫瘍-診療所で“可能な鑑 別診断-】悪性リンパ腫、MTX関 連リンパ増殖性疾患	岸部 幹	耳鼻咽喉科
115	耳鼻咽喉科臨床 (平24.12)	両側Fan-shaped flap法にて再建した 下口唇扁平上皮癌例	大高 隆輝	耳鼻咽喉科
116	Clin Exp Nephrol (平25.2)	Clinical manifestations of granulomatosis with polyangiitis (Wegener's granulomatosis) in the upper respiratory tract seen by otolaryngologists in Japan.	原 保明	耳鼻咽喉科
117	日本臨床 (平25.2)	【血管炎-基礎と臨床のクロストー ク-】ANCA関連血管炎の病因・病 理、診断・治療 多発血管炎性肉芽 腫症の診断と治療	原 保明	耳鼻咽喉科
118	最新医学 (平25.2)	【血管炎症候群-新しい分類と名称- 】微小血管性血管炎 多発血管炎性 肉芽腫症(GPA)の上気道病変と ANCA関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	原 保明	耳鼻咽喉科
119	JOHNS (平25.3)	【図で“みる免疫学のABC】免疫と 耳鼻咽喉科関連疾患の病態 IgA腎症	原 保明	耳鼻咽喉科
120	小児耳鼻咽喉科 (平25.3)	カ“イト”ライン推奨抗菌薬の肺炎 球菌とインフルエンザ“菌”に対する 感受性変化	林 達哉	耳鼻咽喉科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
121	Asian J Androl 2012.7	Single nucleotide Polymorphisms in HORMAD1 may be a risk factor for azoospermia caused by meiotic arrest in Japanese patients.	宮本 敏伸	産科婦人科
122	ACTA Obstet Gynecol scandinavica 2013.3	Clinicopathologic risk factors for recurrence of ovarian endometrioma following laparoscopic cystectomy	千石 一雄	産科婦人科
123	臨床放射線 (H24.11)	18F FDG-PET/CT後期像撮像の有用性—組織型別悪性リンパ腫病変および良性リンパ節の観点から—	中山 理寛	放射線科
124	Clinical Nuclear Medicine (H24.12)	“Hot”Vertebra on 18F-FDG PET Scan A Case of Vertebral Hemangioma	中山 理寛	放射線科
125	Annals of Nuclear Medicine (H25.3)	Dual-time-point F-18 FDG PET/CT imaging for differentiating the lymph nodes between malignant lymphoma and benign lesions	中山 理寛	放射線科
126	臨床放射線 (H25.3)	SPECT/CTによる心筋123I-MIBG SPECTの散乱吸収補正の臨床的効果の検討	中山 理寛	放射線科
127	日本臨床麻酔学会誌 (2012.5.15)	周術期の危険な不整脈診断のポイントと抗不整脈薬の上手な使い方 臨床編 周術期によく遭遇する不整脈と抗不整脈薬の使い方(2)徐脈	笹川 智貴	麻酔科蘇生科
128	痛みと漢方 (2012.5.20)	身体表現性障害患者に対する漢方治療	間宮 敬子	麻酔科蘇生科
129	Journal of Anesthesia (2012.10.1)	Short Communication Ideal body weight-based remifentanil infusion is potentially insufficient for anesthetic induction in mildly obese patients.	鈴木 昭広	救急科
130	Journal of Clinical Anesthesia (2012.11.1)	Original Contribution Comparison of the Pentax-AWS Airway Scope with the Macintosh laryngoscope for nasotracheal intubation: a randomized, prospective study	鈴木 昭広	救急科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
131	麻酔 (2013.1.10)	拮抗作用から見た麻酔関連薬物の最新知見 スガマデクス	大友 重明	麻酔科蘇生科
132	ペインクリニック (2013.2.1)	痛みに対する漢方薬の使い方	間宮 敬子	麻酔科蘇生科
133	麻酔 (2013.2.16)	超音波を用いた気胸診断一分離肺換気下の手術患者での検討一	田中 博志	麻酔科蘇生科
134	Anesthesia & Analgesia (2013.3.1)	Letters to the Editor A Simple Alternative Method to Confirm Lung Separation.	鈴木 昭広	救急科
135	Int J Radiat Oncol Biol Phys (H24.4)	Integration of Corticospinal Tractography Reduces Motor Complications After Radiosurgery	鎌田 恭輔	脳神経外科
136	Int J Radiat Oncol Biol Phys (H24.4)	Outcomes of Diffusion Tensor Tractography-Integrated Stereotactic Radiosurgery	鎌田 恭輔	脳神経外科
137	Neurologia medico-chirurgica (H24.4)	The guidelines for Awake Craniotomy	鎌田 恭輔	脳神経外科
138	脳神経外科ジャーナル (H24.4)	皮質脳波による視覚認知ネットワークの解明	鎌田 恭輔	脳神経外科
139	臨床神経生理学 (H24.4)	脳磁図の臨床応用に関する文献レビュー(第2報):小児疾患	鎌田 恭輔	脳神経外科
140	臨床神経生理学 (H24.4)	脳磁図の臨床応用に関する文献レビュー(第2報):虚血性脳血管障害	鎌田 恭輔	脳神経外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
141	脳卒中の外科 (H24.5)	脳神経外科診療の実績作りに脳血管内治療医は貢献しているか？	和田 始	脳神経外科
142	てんかん治療研究振興財団研究年報 (H24.5)	皮質電位による言語・記憶機能野の局在解析	鎌田 恭輔	脳神経外科
143	Neurologia medico-chirurgica (H24.6)	Ruptured aneurysm with delayed distal coil migration requiring surgical treatment	和田 始	脳神経外科
144	Clin Neurophysiol (H24.6)	Publication criteria for evoked magnetic fields of the human brain: A proposal	鎌田 恭輔	脳神経外科
145	てんかんをめぐって (H24.6)	脳皮質電位による認知機能野の局在解析	鎌田 恭輔	脳神経外科
146	The Mt.Fuji Workshop on CVD (H24.9)	脳機能画像に基づいた脳神経外科手術	安栄 良悟	脳神経外科
147	Brain and Nerve (H24.9)	脳皮質電位と機能的MRIによる言語・記憶機能ダイナミクス	鎌田 恭輔	脳神経外科
148	NeuroImage (H25.1)	Characteristic profiles of high gamma activity and blood oxygenation level dependent responses in various language areas	鎌田 恭輔	脳神経外科
149	Clin Neurophysiol (H25.1)	Dynamics of language-related high-gamma activity assessed on a spatially-normalized brain	鎌田 恭輔	脳神経外科
150	日本味と匂い学会誌 19(1)、71-78、 2012 (H24.4)	脳室下層における神経新生と嗅覚機能	宇津木 千鶴	歯科口腔外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
151	日本有病者歯科医療 学会誌21(1)、17- 23、2012 (H24.4)	Rett症候群患者の歯科治療経験	岡 久美子	歯科口腔外科
152	Genomics vol99 227-232 2012 (H24.4)	Multiplex PCR-based Alu insertion polymorphism genotyping for identifying individuals of Japanese ethnicity	岡 久美子	歯科口腔外科
153	法医学の実際と研究 55巻、215-221、 2012 (H24.8)	抗ヒトセラチン交代を用いた浴槽内溺 水診断の検討	岡 久美子	歯科口腔外科
154	日本口腔外科学会雑 誌59(1)、18-22、 2013 (H25.1)	陳旧性両側顎関節脱臼に非観血的整 復法を施行した1例	吉田 将重	歯科口腔外科
155	Electrophoresis Vol.34(3) 448-455, 2013 (H25.2)	Universal fluorescent labeling of amplification products using local nucleic acids	岡 久美子	歯科口腔外科
156	Biochemical and Biophysical Reserch Communications Vol.432 689-694, 2013 (H25.2)	Sodium fauou sode oxycholate prevents paraquat-induced cell death by suppressing endoplasmic reticulum stress in human lung epithelial A549 cells	岡 久美子	歯科口腔外科
157	JOHNS28 (2012 11月)	ファイバースコープ、エアウェイスコ ープ挿管の適応	鈴木 昭広	救急科
158	救急医学 へるす出 版 (2012年 9月)	超音波監察下の胃洗浄を行った大量 服薬の1例	鈴木 昭広	救急科
159	救急医学(へるす出 版) (2012年 4月)	I 心肺蘇生 胸骨圧迫	鈴木 昭広	救急科
160	救急・集中治療 (2012年9・10月)	「腹部救急Q&A」Ⅲ. 病態別各論- 疾病 Q19.急性腸管虚血	嘉島 伸	救急科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
161	J・Anesth (2012 26:614-616)	Parker Flex-Tip Tube® provides higher intubation success with the Pentax-AWS Airwayscope® despite the AWS tip being inserted into the vallecula	鈴木 昭広	救急科
162	Autopsy imaging症 例集 2012	Aiが事件・事故に用いられた症例 児童虐待(腹部を踏まれる)	鈴木 昭広	救急科
163	J Gastroenterol (2012 Apr)	Endogenous orexin-A in the brain mediates 2-deoxy-D-glucose-induced stimulation of gastric motility in freely moving conscious rats.	野津 司	地域医療教育学講座
164	OJGas (2012 May)	Epiplonic appendagitis as an uncommon cause of lower abdominal pain.	奥村 利勝	総合診療部
165	Intern Med (2012 Aug)	Peritoneal loose body.	野津 司	地域医療教育学講座
166	Int J Gen Med (2012 Sep)	High rate of smoking in female patients with Mondor's disease in an outpatient clinic in Japan.	奥村 利勝	総合診療部
167	Dig Dis Sci (2012 Oct)	IL-1 receptor antagonist blocks the lipopolysaccharide-induced inhibition of gastric motility in freely moving conscious rats.	土屋 慶容	総合診療部
168	Neurogastroenterol Motil (2013 Feb)	Peripheral corticotropin-releasing factor (CRF) induces stimulation of gastric contractions in freely moving conscious rats: role of CRF receptor types 1 and 2.	野津 司	地域医療教育学講座
169	Cancer Sci 2012.4	Iron facilitator LS081 reduces Hypoxia inducible factor-1 α protein and functions as anti-cancer agent in hepatoma.	田中 宏樹	消化管再生修復医学講座
170	日本臨床内科医会会 誌 27巻、46-52 2012.6	大腸がん診療における薬物療法の位置づけとその評価	高後 裕	第三内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
171	日本内科学会雑誌 101巻、2042-2044 2012.7	妊娠関連赤芽球癆の1例	伊藤 巧	第三内科
172	Case Report Hematol. 2012.9	Successful Control of Disseminated Intravascular Coagulation by Recombinant Thrombomodulin during Arsenic Trioxide Treatment in Relapsed Patient with Acute Promyelocytic Leukemia.	進藤 基博	第三内科
173	Respirology (H24, 4)	Deaths and Complications associated with Respiratory Endoscopy: A Survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2010	大崎 能伸	呼吸器センター
174	Molecular and Clinical Oncology (H24, 8)	Feasibility of adjuvant chemotherapy with S-1 consisting of a 4-week administration and a two-week rest period in patients with completely resected non-small cell lung cancer	奥村 俊介	呼吸器センター
175	Journal of Infection and Chemotherapy (H24, 10)	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Surveillance Committee of Japanese Society of Chemotherapy, Japanese Association for Infectious Diseases, and Japanese Society for Clinical Microbiology in 2009: general view of the pathogens' antimicrobial susceptibility	大崎 能伸	呼吸器センター
176	「外科」第75巻、第3号、307-310、2013年3月 (H25,3)	腋窩副乳原発線維腺腫の1例	松田 佳也	乳腺疾患センター
177	臨床病理 (60巻8号 Page769-778(2012.08))	シスタチンCの基礎と臨床	伊藤 喜久	臨床検査・輸血部
178	J Anesth 2012.4	A high dose of dexmedetomidine using the BIS monitor™ for diagnostic and interventional cardiac catheterization in a toddler with congenital heart disease.	國澤 卓之	手術部
179	北海道外科雑誌 2012.6	乳癌増殖能指標としてのHistological gradeはKi67 labeling indexの代替となり得るか	林 諭史	乳腺疾患センター
180	北海道外科雑誌 2012.12	病理学的因子は非浸潤性乳管癌の手術術式に影響するか?	林 諭史	乳腺疾患センター

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
181	北海道外科雑誌 2012.12	術前補助療法を行った男性の進行性乳癌の1例	松田 佳也	乳腺疾患センター
182	J Anesth 2012.12	Ideal body weight-based remifentanil infusion is potentially insufficient for anesthetic induction in mildly obese patients.	國澤 卓之	手術部
183	体外循環技術 2012.12	寒冷凝集素症を合併した弓部大動脈瘤に対する脳分離体外循環の経験	本吉 宣也	臨床工学室
184	Neurosci Letters, 521, 15-19 (2012.7)	Meloxicam ameliorates motor dysfunction and dopaminergic neurodegeneration by maintaining Akt-signaling in a mouse Parkinson's disease model.	田崎 嘉一	薬剤部
185	Legal Medicine, 14, 191-196 (2012.7)	Estimation of the duration after methamphetamine injection using a pharmacokinetic model in suspects who caused fatal traffic accidents	松原 和夫	薬剤部
186	眼科54巻5号 P667- 673 (平成24年5月)	他の網膜疾患の合併が診断・治療に影響したVogt-小柳-原田病	木ノ内 玲子	医工連携総研講座
187	日本遠隔医療学会雑誌第8巻第2号 (平成24年9月)	北海道における眼科遠隔医療の利用状況分析	守屋 潔	医工連携総研講座
188	日本眼科学會雑誌 (平成24年12月)	全層角膜移植術後に生じた悪臭症をともなう真菌性涙嚢炎-DNA塩基配列解析による病原真菌の分類・同定-	花田 一臣	医工連携総研講座

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松野 丈夫
管理担当者氏名	総務課長 大石 和博、会計課長 伊藤 恒明、経営企画課長 成田 昭夫、医療支援課長 阪井 誠、薬剤部長 田崎 嘉一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 経営企画課 医療支援課 薬剤部	コンピューターによる集中管理を行っている。 カルテ等病歴資料、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部総務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務部総務課 病院事務部経営企画課	
	閲覧実績	病院事務部経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部経営企画課	
第規一則号第一に掲げる十の体制第一項各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務部総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務部総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院事務部医療支援課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務部総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務部総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務部会計課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 千葉 正勝
閲覧担当者氏名	経営企画課長 成田 昭夫
閲覧の求めに応じる場所	会議室 (共通棟 (B))

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.8%	算定期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	10,572 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,760 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,000 人	
	D: 初診の患者の数	18,425 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理の基本理念 (2) 安全管理組織体制の整備 (3) 部門の長の管理責任の明確化 (4) 診療マニュアルの活用(本編・携帯ポケットマニュアル) (5) インシデントと医療事故の用語の定義 (6) インシデント報告体制 (7) 医療事故発生時の対応 (8) 医療関連死・CPA-OA症例の剖検に関する指針 (9) 医療相談窓口の設置 (10) 本指針改正の定義	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止対策の検討及び推進 (2) 医療事故防止の啓発活動(講演会等の企画立案を含む) (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る (4) 医療事故防止対策マニュアルの見直し (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 8 回
・ 研修の主な内容： 初任者研修(新規採用研修医・看護師)、新規採用医師・中途採用者の教育(看護師、事務職員、コ・メディカル)、ME機器セミナー(低圧持続吸引器・輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器：全6回)、肺血栓塞栓症講演会、院内講師・外部講師による講演会、各部門における安全の取り組み報告会&ポスターセッション(2日間：内容別)、e-ラーニングで学ぶ医療安全	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 「医療安全ポケットマニュアル(第6刷)」を発行した。 (2) 同姓同名患者を取り違えて超音波検査を施行した事例から、電話のそばに「口頭指示受けメモ」を置き確認ができるようにした。 (3) 気管カニューレの計画外抜管の事例から、「緊急時ミニレクチャー、緊急時シミュレーション」を開催した。また、各患者ベッド周辺に「蘇生物品」を配置した。 (4) 患者を間違えて注射を実施した事例から、部署内RCAを実施し、患者確認についての確認行動を徹底した。 (5) 新生児に誤って違うものを点眼した事例から、部署内RCAを実施し、薬剤の形状変更を行った。 (6) 造影剤漏れ事例から、「造影剤漏れ検知サポートシステム 講習会」を開催しスタッフへの教育と注意喚起を行った。 (7) デイサージャリー入室時間の間違い事例から、「手術入退室・時間変更の連絡記録表」を作成した。 (8) 外来待合室のプレイルームで転倒した事例から、注意喚起用の貼紙を作成した。 (9) 入院時持参薬の返却忘れの事例から、収納場所を工夫し、収納ボックスを五十音別に分け、蓋付きボックスにした。 (10) はさみによる皮膚の損傷事例から、スタッフの使用するはさみを先端にカバーの付いた安全なはさみに変更した。 (11) 術中の手術機器破損に伴う機械片の体内遺残の疑い事例から、手術部と材料部で話し合い、対策を講じた。 (12) 塩化ナトリウムの重複投与の事例から、薬の準備体制の見直しを行った。 (13) 抗がん剤治療の指示を受けたが、その後の採血結果で腎機能低下があり治療中止とな	

<p>った事例から、有害事象共通用語基準CTCAEをパソコンの前に常備し、検査結果をしながら検討できる環境を整備した。</p> <p>(14) 他の患者の薬剤を内服させてしまった事例から、予測指示を作成した。</p> <p>(15) RH (-) 妊婦及びGBS (+) 妊婦への分娩時の不適切な対応事例から、入院時チェックリスト (HRPリスト) を作成した。</p> <p>(16) 放射線治療実施時の患者間違い事例から、放射線治療室で患者治療マニュアルを作成した。</p> <p>(17) 酸素流量計の接続が不十分だった事例から、酸素が流れているか確認できるように「視流計」を取り付けた。</p> <p>(18) なくなりとめの薬剤が定期で処方され内服していた事例から、指示に関する手順を日頃から使用できるように医師記録室やNSリーダー席に設置した。</p> <p>(19) 気管カニューレの事故抜去事例から、「気管カニューレ事故抜去時の対応」手順をスタッフに周知した。</p> <p>(20) 手術室入室時の検体の間違い事例から、検体提出及び依頼のシステムを見直した。</p> <p>(21) 検査前に散瞳薬使用事例から、検査前処置 (点眼処置時) に関する記載方法等の見直しを行った。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (7) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療の質の向上及び安全に関する事項</p> <p>(2) インシデントレポート等に関する調査・分析</p> <p>(3) 医療事故防止のための改善策の策定・実施及び周知</p> <p>(4) 医療調査委員会開催の判断</p> <p>(5) 院内各部署における医療安全管理状況の点検</p> <p>(6) 医療の安全性に係る教育および研修</p> <p>(7) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知</p> <p>(8) 医療事故防止対策マニュアルの見直し</p> <p>(9) 医療安全に関する院外への情報提供</p> <p>(10) その他医療安全に関する事項</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方・感染制御部・ICTなどの組織的な取組み院内感染対策のための職員研修に対する基本指針感染症発生状況の報告に関する基本方針院内感染発生時の対応に関する基本方針患者に対する当該指針の閲覧に関する基本方針その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 3 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染の予防に関すること院内感染の情報収集に関すること感染源の追及等のための検査実施に関すること防疫対策の確立に関することHIV感染症の医療体制に関することその他、院内感染対策についての重要事項に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">初任者研修オリエンテーション（講義）中途採用者研修（講義）手指衛生・PPE着脱演習（新採用者、中途採用者、各部署の教育担当者）院内感染対策に係る講演会血流感染防止教育	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">微生物検査室と連携し微生物の新規検出状況を毎日把握しており、当該検出部署の感染対策マネージャーに連絡を行い感染予防策の実施について確認している。また、アウトブレイクが疑われる場合は菌種の遺伝子検査を実施し、同一菌種による発症事例が多数の場合は病院長に報告するとともに、保健所に報告する体制が構築されている。感染制御部における「適正な手指衛生・個人防護服の着用演習」について、新規採用職員、中途採用職員など病院職員全体に実施している。また、教育対象を外注職員に拡大するなど院内の感染対策に努めている。医師、看護師、薬剤師などのICTメンバーによる感染制御チームを設置し、1ヶ月に4回以上院内ラウンドを実施し、各種の予防策の実施状況やその効果等の評価を行った。感染制御チームのラウンドのほかに、感染対策リンクナースとともに各部署の「感染対策オーデイト」を行い、感染対策実施状況のチェックと指導を行っている。23年4月より感染制御部に専任医師1名配置となり、医師、薬剤師、看護師のチームで抗菌薬ラウンドを実施し、抗MRSA薬・カルバペネム薬の監視体制の強化を図った。24年4月より、本院を含めた旭川市内6医療機関での連携が開始された。平成25年4月からは1医療機関脱退し、5医療機関で合同カンファレンスの実施や相談体制などの構築、相互チェックを実施する。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 初任者研修 (対象：全職員：看護師：研修医) H24. 4. 3, 6 計90名</p> <p>(2) 新規採用医師並びに看護師の中途採用者の教育 H24. 4. 2～適時 継続中</p> <p>(3) 医療安全に関する講演会 H24. 10. 22 計275名、H24. 11. 6 計185名</p> <p>(4) その他の研修会</p> <p>① 第1回事例検討会 (事例から学ぶ) H24. 9. 25 86名</p> <p>② 安全管理・感染制御部合同研修 (医療安全の基本的考え方再確認等) H24. 10. 16 計80名</p> <p>② 各部門での安全への取り組み (報告会・ポスターセッション) H24. 12. 5-6 延べ792名</p> <p>③ ME機器セミナー (「薬剤の急速注入事例」等) H24. 8. 27, 30、H24. 9. 5 計374名</p> <p>④ 第2回事例検討会 (事例から学ぶ) H25. 2. 19 計72名</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>(1) 総則 (2) 医薬品の採用 (3) 医薬品の購入・管理 (4) 薬剤部における医薬品の管理</p> <p>(5) 病棟・各部門への医薬品の供給 (6) 外来患者への医薬品使用</p> <p>(7) 入院患者への医薬品使用 (8) 麻薬管理 (9) 院内製剤 (10) 他施設との連携</p> <p>(11) 医療事故防止および発生時の対応 (12) 教育・研修</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療機器安全情報</p> <p>(2) 日本製薬団体連合会：Drug Safety Update</p> <p>(3) 各メーカー・卸からの回収情報等の収集</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 27 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>定期研修 ME 機器セミナー（経腸栄養ポンプ、シリンジポンプ、輸液ポンプ、人工呼吸器） 医療機器の安全使用推進者養成講座（シリンジポンプ、輸液ポンプ） 人工心肺操作時のトラブル対応シミュレーション 人工呼吸療法に関するセミナー 血液浄化療法に関するセミナー 保育器導入時のメーカーによる説明及び研修</p> <p>新しい医療機器の導入時の研修 耳鼻科領域の手術装置 NO吸入療法装置 保育器</p> <p>CL-iX, Eclipse, ARIA, OBI/CBCT, PV 取扱説明 水ファントムを用いたビーム測定とコミッションング 機器の安全性、使用上の注意、保守点検、事故等の報告義務 放射線発生装置の定期点検後の装置の状態説明 ¹⁹⁷Ir線源交換・払出、線源校正 診療用放射線照射装置の定期点検後の装置の状態説明</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>(1) シリンジポンプ、輸液ポンプ及び経腸栄養ポンプは中央管理による日常点検及び定期点検 (2) 人工呼吸器は始業点検、使用中点検、終業点検及びメーカーによる定期点検 (3) 血液浄化装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 (4) 除細動器は点検器具を用いた臨床工学技士による定期点検 (5) 人工心肺装置及び補助循環装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 (6) 保育器の日常点検、定期的な点検 (7) 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置の始業・終業点検及び定期点検 (1 か月毎、1 か年毎)、装置の品質維持管理 (8) 業者による定期保守点検 ① 診療用高エネルギー放射線発生装置 ② 診療用放射線照射装置 (9) 業者に対する機器故障時のオンコール</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(1) 情報収集の方法

- ①医療機器に関する情報提供のホームページを活用
- ②医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)の登録
- ③メーカー主催のメンテナンス講習会への参加
- ④医療機器に関連する学会への参加
- ⑤メーカー担当者からの報告及び情報の収集
- ⑥放射線医療機器に関する情報提供のホームページを活用
- ⑦放射線医療機器に関連する学会への参加

(2) 情報の周知

- ①ME 機器セミナーによる報告
- ②文書配付による通知
- ③メーカー担当者から関連部署への通知の依頼
- ④研修時の定期報告と確認
- ⑤記録簿等の報告と確認